



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第6号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2000年3月18日号, No.6

第6号の目次

- 1、人と人とのつながりを ~巻頭挨拶~
- 2、神奈川RB第2回総会 (2000/1/23)
 - 総会概要報告、講話報告
- 3、1月の各イベント参加レポート
 - 防災ギャザリング2000 from かながわ (2000/1/15 ~23)
 - 震災犠牲者追悼キャンドルサービス (~2000/1/15)
 - 大和市民体験フェア (2000/1/15 ~16)
 - 川崎冬季災害訓練 (2000/1/16)
 - フリーマーケット (2000/1/23)
- 4、2月の各イベント参加レポート
 - NPO法勉強会&関東ブロックを考える会 (2000/2/6)
 - 日赤救護法訓練報告 (2000/2/13)
 - 2000年度第1回走ろう会レポート (2000/2/26)
- 5、3月定例ミーティング報告 (2000/3/5)
- 6、奥村パパのコラム
- 7、お知らせ/お問い合わせは

人と人とのつながりを ~巻頭挨拶~

神奈川RB副代表 山本泰彦



「震災時、バイクで役に立ちたい」

その趣旨に賛同し、集まったRBのメンバーである私達自身が日常の活動の中で、そして気持ちの中で持ち続けたいもの、一番大切にしたいものは人と人とのつながりだと思っています。

いざというとき、顔も知らない人と一緒に円滑な支援活動ができるのかという疑問を訴える人もよくいます。仮に震災があった場合を考えると、RBには「手伝いたい!」とその場に来てくれるライダーに対するコーディネートや連絡の取り合いなど、メンバー1人1人に対して「リーダー」としての活動が要求されることは容易に想像できます。もし日常活動の中でメンバー間の交流、顔の見える関係が作れなければ、いざというとき、そのような場面で思いもよらない困難さや大きな活動の壁が起きるでしょう。

またツーリング等、遊びばかりで実際役に立つの?と疑問に思われる方もいるかもしれません。しかし、私達のようないつ起こるか分からない災害に備えて活動していくボランティア団体にとって、いかに楽しく継続して活動して行くか さらにそのメンバー間の交流が日常どれだけ持てるかが、いざというときに幅広く活動する上で大変重要な事だと僕は考えます。ただ、仕事や家庭等の事情でなかなかRBの活動まで

顔が出せないという方も、「震災時、バイクで役に立ちたい」という気持ちは持ち続けて頂きたいと思っています。そして、時間が空いたときにブラッと顔を出して頂ければ、それで「顔の見える関係」ができると思っています。それだけ神奈川RBはオープンであり、いい雰囲気を持っていると僕自身は思っています。さらに、会報や3ヶ月予定表、そしてホームページ等はそのきっかけを皆様に提供し続けているものと思っています。活用して頂ければ幸いです。

2000年、新たな神奈川RBの活動が始まりました。今年は近隣RBや関係機関との積極的な交流をはじめ、私達のスキルアップも念頭において活動して行きたいと思っています。今後とも神奈川RBの活動にご理解、ご協力、そしてご参加の程、よろしくお願い致します。

1/23 神奈川RB第2回総会報告

報告者: 山本泰彦



2000年1月23日、かながわ県民センター3階301会議室において、神奈川RB第2回総会が開催されました。

内容としては代表の挨拶、活動説明、来賓の宇田川様の挨拶、

来訪RB紹介、総会議事、各分科会紹介、そしてご来賓の赤十字の田島様と神奈川県警の田嶋様からの講話を頂き、様々なお知らせ等がありました。

総会と講話と分けずに行なったので長時間に渡りましたが、参加された皆様のおかげで無事終了致しました。

総会議事では、活動報告、決算、規約改正案、役員選出、年間計画、予算等、審議事項の全てが承認されました。最後に、今年度の神奈川RB役員、各リーダーをご紹介します。

役員 (敬称略)

神奈川RB代表: 山田泰

神奈川RB副代表: 伊藤浩章、井上哲也、山本泰彦、加藤英宗

会計監査: 岩瀬雅裕、松井嘉夫、事務局長: 矢代幸雄

分科会リーダー、サブリーダー (敬称略)

震災時活動研究分科会: 伊藤浩章、井上哲也

情報通信分科会: 坂本篤哉、古賀陽一

バイク分科会: 北村大輔、太田真幸

救急救命分科会: 奥村和征、石井路香

地域リーダー (敬称略)

神奈川北部: 岩崎雅弥、神奈川東部: 坂本篤哉

神奈川南部: 手塚則生、神奈川西部: 永山充

1/23 総会記念講話報告

報告者: 矢代幸雄

今回の総会では、救急救命分科会、そしてバイク分科会を中心にアドバースをしてくださる赤十字奉仕団田島様、神奈川県警田嶋様の講話がおこなわれました。



普段から交流のある方々だったということもあり、とても楽しそうにお話しているのが非常に印象的でした。

ボランティアのための救護法研修会や救護法訓練等でお世話

になっている赤十字奉仕団の田島様は特に、

- ・楽しんで活動することの必要性
- ・RB会員であることの自覚、責任を強調されました。



そして走行訓練等でお世話になっている神奈川県警の田嶋様は特に「公的機関と民間機関の連携モデルとしての理想的関係を作ってほしい」と強調され、RBに対する期待を感じました。今後も

この交流を深められればと思います。

1月の各イベント参加レポート

1/15 ~23 防災ギャザリング2000 from かながわ

1/15 震災犠牲者追悼キャンドルサービス in 山下公園

報告者: 手塚則生、山本泰彦



防災ギャザリングの一環として、竹筒に水を入れ、そこにろうそくを浮かべ、「1.17 KANAGAWA」の文字を灯す震災犠牲者追悼キャンドルサービスが計画され、昨年12月、そのために必要な孟宗

竹を神奈川RB梶さんのお知り合いの方にご協力頂き、竹筒で2000本分、提供頂きました。さすがにバイクで搬送するわけには行きませんが、トラック等を駆使し、サポートセンターまで運びました。まずはご協力頂いた皆様に感謝致します。

また当日まで竹の調達や竹きり、そしてキャンドル作りで神奈川RBから何人もお手伝いをさせて頂きました。



当日1月15日、竹置き場で車に必死で早朝の雨に濡れた竹を押し込んでいましたが、集合時間が近づいたため積みこみ作業終了後直ちに山下公園へ向けて出発しました。先発としてバイクも

出ました。本部の設営場所など、現場に既に集まっているボランティア

への指示や、運搬部隊の受け入れ態勢を整えるためでした。トラックは、少し遅れて山下公園に到着しました。山下公園では準備作業の効率を考えて、左右に車両を分けて止めると、わらわらと人が集まってきて、あっという間に竹は全て降ろされました。平行して本部テントの設



営など、見事な手際で進みました

。竹切り作業には多くの方が参加されていましたが、さすがにお腹も減りました。昼食は非常食のアルファ米の「炊き込みごはん」と、「おでん」でした。このような休憩

息をはさみながら作業も着々と進み、竹を置いたり、竹に水を注ぐ段階になり、思わぬ水不足が発生して水道には大行列ができました。それでもお互いに融通し合い、準備は進みました。あとは本番の点灯が風や雨に邪魔されないように祈るばかりでした。



夕方5時、点火のセレモニーが始まり、大事な“神戸の灯”を付けてもらい各ろうそくに点灯しました。

風で消えるものや点かないものもありましたが、ろうそくを持っている参加者みんなで灯を燈し続け

ました。当日には震災の後、関東に移ってこられた方もたくさん参加されていたと後日報道で知りました。

そして、午後5時46分、氷川丸の汽笛を合図に神戸に向かってボラン



ティア、参加者、通り掛かりの人全員で震災犠牲者の方々に対して黙祷を捧げました。氷川丸の汽笛は3回長く響き渡りました。

そして午後6時過ぎ、灯を消し、撤収作業に入りました。今回使用した竹筒は、そのまま佐川急便

の御厚意により無償で神戸に運んでもらい、次の日行われた神戸でのキャンドルサービスに、そして竹炭に活用されるとの事でした。



撤収では、準備のときよりも多くの方が参加し、トラックへ積み込み、そして積み終えた後、全員で神戸に向かうトラックを見送りました。今回のイベントは震災や防災について、そしてそれに関わるボランティアのあり方など多くのことを学ぶことができました。

1/16 ~17 大和災害体験フェア2000参加報告

報告者: 中島信義



1月15日17時~16日7時に大和災害体験フェア2000が大和市立深見小学校で行われました。神奈川RB加藤英宗さんのシナリオによるシミュレーション「その時、あなたはどのように？」で防災訓練の

幕が開かれました。

夕刻5時、50名を超える地元の児童や父兄参加のもと被災者役と救援ボランティア側に別かれ、「医者と傷病者」「避難者とボランティア」など参加者に役割を設定した突然の行動研究。参加者の声は「面白くて戸惑いながらも真剣に考えさせられた」と大変好評でした。夕食は主催者による「豚汁の炊き出し」と「おでん」「甘酒」など。恒例の避難所を想定した体育館宿泊体験は総勢50名ほどでした。



PM9:00より救急法の講習と実技が1時間。館内気温が0度近くのなか、主催者提供の寝袋の下にダンボールを敷詰めて就寝。寒くて熟睡が出来ず、実際は避難所生活が長期に渡った事を考えると、想像を絶するご苦労が思われました。翌16日AM5:46 阪神大震災の犠牲者に全員起立して黙祷。AM7:00訓練終了・解散。RBからの参加者は6名(内宿泊体験者3名)でした。

1/16 川崎災害ボランティアネットワーク災害訓練報告

報告者: 中島信義

1月16日10時より、川崎市行政センターにおいて、川崎災害ボランティアネットワーク災害訓練が行われました。

昨年と訓練内容は同じでしたが、神奈川RBとしての無線訓練、物資搬送活動に対して、会場からは昨年以上の期待を感じました。

神奈川RBからの参加者は5名で搬送物資は、大和防災ボランティアから提供の飲料水でした。会場までの搬送を想定し、会場周辺を約2キロ実走行のあと救援本部に到着後、川崎災害救援ボランティアに引渡しを行う形となりました。途中、無線での交信等、神奈川RB内で訓練の中に実験的な要素も盛り込みました。

さらに訓練に参加された川崎消防本部・特殊救護隊指揮官と懇談し、次のようなお話をうかがいました。

神奈川県外での関東ブロック震災時救援の際は、川崎消防本部が県の総指揮権をとる

川崎消防本部はバイク隊が無く、神奈川RBの活動に関心がある
関連車輛にはナビゲータが搭載されておらず被災地でのバイクによる目的施設への誘導やバイク隊員による道案内の為の緊急同乗などの有効性

などをお聞きました。

1/23 フリーマーケット

報告者: 手塚則生



1月23日、総会当日に、かながわ県民センター1階で、フリーマーケットが行われました。事前の呼びかけに応じて下さった神奈川RB会員の皆様から、実に様々な御提供の品があり、売り場スペース(会議用机2脚)に、並びきれないほどでした。

他団体の出店も外国の手作り民芸品や、本格的インドカレー、地雷撤廃を呼びかける絵本、神戸の“がんばろうタオル”などなど。

途中で私達は、総会参加の為に中座せざるを得ず、中島さんの奥様

をはじめ、サポートボランティアの方々に、店番を代わっていただきました。本当にありがとうございました。あいにくの雨模様でしたが、予想以上の売上を得る事ができました。最終的に今回のフリーマーケットで、47,640円の収入がありましたことを報告させていただきます。皆様のご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。

2月の各イベント参加レポート

2/6 NPO法勉強会&関東ブロックRB活動を考える会

報告者: 井上哲也



2月6日10時より飯田橋駅前の東京ボランティアセンターにて行われたNPO勉強会は、東京RBの方からの丁寧な説明により、よく理解できたと思えました。わかりやすい資料をもらったので、今後、皆さんと一緒に勉強できればと思っています。

引き続き行われた関東ブロックRB会では、今後の予定として、各RBが抱える諸問題の討議などをやっていながら、並行して各RBが主催するイベント開催内容を情報交換して、ブロック内RBは積極的に参加して交流を計りましょう、という感じになりました。

ただ、当面は、関東ブロックとして、震災時にどう動くか、を暫定でも早急に決めていくこととし、とりあえず今回は各RBの震災時の拠点をまとめました。この流れは我々の活動と大きくリンクし、今後に期待できそうです。

あと、JRB本部に対する要望を、各RBともどうやって伝えるかで我々と同様に苦労している様で、これについてはJRB副代表の国府田さんが窓口、とりまとめになって頂けることを明確化されました。

2/13 日赤救護法訓練報告

報告者: 奥村和征



2月13日午後1時30分から神奈川県民活動サポートセンター604号室にて「日赤救急法短期講習会」を開催しました。この短期講習会は日赤の正規の講習会であり、受講者のニーズに

合わせた内容にする事ができます。参加者は11名で、講師はいつもお世話になっている救護奉仕団の田島指導員にお願いしました。



まず止血法について教えていただき、次に心肺蘇生法の練習を行いました。田島さんがたくさん練習用的人形を借りてきてくれたお陰で、何度も練習することができました。参加者全員、きつ

と完璧にマスターできたのではないのでしょうか。最後にお約束の「全身包帯」で事務局長を包み、この日の講習会は終了しました。救急救命分科会ではこれからも講習会を開催していきます。今回参加できなかった方は、是非次回御参加下さい。

2/26 2000年度第1回走ろう会ツーリング報告

報告者: 松井嘉夫

走ろう会(神奈川RBお気楽ツーリング)が2月26日(土)に行われました。当日の朝5:30に起床し天気予報を確認したところ夕方から雪。天気情報を色々確認していたら久里浜での集合時間の8:00に7分ほど遅れてしまいました。今回の参加者はダンディーな中年(?)4人組でした。当初はイチゴ狩りを予定していましたが、メンバーがメンバーなので(?)温泉ツーリングに急遽変更し、洲崎、房総フラワーラインを通り野島崎まで行く事にしました。途中のフラワーラインは菜の花が咲き乱れ道の両側が黄色いベルトで埋まっていたのですが、それよりも寒さが身にしみました。野島崎には11:10に到着し、記念撮影を終え、昼食をとるために道の駅の鴨川オーシャンパークへ走り出しました。昼食は3人が海鮮丼で1人は釜飯を頼みました。昼食後、鴨川から34号線に入り保田で温泉を探すことにして走り出しましたが津森山の近くでとうとう雪が。。残念ながら温泉はパスして直帰する事にし、金谷14:20発のフェリーに乗り久里浜で15:05解船となりました。ちなみに当日の私の走行は230kmでした。

3/5 定例ミーティング報告

報告者: 山本泰彦



3月5日10時より横浜のかながわ県民活動サポートセンター10階にて定例ミーティングが行われました。概要を紹介します。(総会以降参加の新入会員:渡辺和也さん、永田雅人さん)

- 1、地区サブリーダー提案(手塚)
地区リーダーから地区会等の開催もできればしたい。
- 2、ラフ&ロードとの提携方法(手塚)
店員に会員証等の提示すると値引きが可能(お友達価格に)すでにポスター貼り等の広報をいただいている。
早く会員証を作ってほしいとの事。
- 3、会員証 作る方向で(有効期限付きのものに)
細かいフォーマットは今後詰めて正式発行する。
- 4、会計マニュアル検討(井上)
収支決定者の明確化、文書化を行ったことの報告。
- 5、ホームページ運用マニュアル(山本)
松井、山本両案の説明。山本案に松井案を盛り込む。
- 6、ホームページ入会申し込みフォームについて(山本)
- 7、ボランティア保険の案内(井上)
- 8、振り込みによる会費等納入受付について(矢代)
口座開設の報告。
- 9、3ヶ月リスト作成(矢代)
- 10、発送作業確認、事務局関連(矢代)
発送物確認、あて先、発送部数確認。
転居先不明の方は退会扱いとし、以後、発送しないこととする。
作業日:3月18日(土)10時~ 横浜 県サポ10階
ミーティング後、震災時活動分科会ミーティングが開催されました。

奥村パパのコラム

奥村和征

「バイクから離れた視点」

今年も冬がやってきました。寒い日にバイクに乗っている人を見かけると「すごいなあ。」と感心してしまいます。

(路面凍結には気を付けてね。)

けど、たまにはバイクを降りてみてはどうでしょう?

ライダー(自分を含めて)って、ついつい「のめり込みがち」になりますよね。

だけど固執しすぎると、結局自分達の世界を狭めることにつながるような気がします。世の中には「バイクに乗らない人」のほうが圧倒的に多いはず。

たまに自転車に乗ったり、バスに乗ったり歩いたりしてみると、色々気付くこともあるかもしれません。

僕らがこれからもずっとバイクと密に関わり、豊かなバイクライフを送っていくために、バイクに乗らない人の立場からも物事を考えられるようになりたいですね。

その為には、敢えて「バイクから離れる努力」も必要なのかも?

コラム等はいつでも募集中です。

いり2のコラムVol.5も掲載予定!

次は何か?乞う御期待

お知らせ

郵便振替による会費納入、寄付等の受付を開始します

神奈川RB事務局

総会で会員手続きの更新をされていない方、なかなかミーティングやイベントに参加できない方、また神奈川RBの活動を資金面でサポートして下さる方へ、郵便振替受付開始のお知らせです。

郵便貯金総合通帳

口座番号:記号 10250 番号 75716001

口座名: 神奈川レスキューサポート・バイクネットワーク

代表 山田 泰

住所:〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

通信欄に必ず、「会費納入」や「寄付」等を明記して頂きますよう、よろしくお願い致します。

お問い合わせは

神奈川RB事務局

郵送先:〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Tel:046 247 7884(事務局加藤宅)

Fax:046 247 9539(事務局加藤宅)

URL:<http://cools.com/kanagawarb> E-mail:52379663@people.or.jp

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者: 神奈川RB会報担当 山本泰彦